



秋の空 露をためたる 青さかな(子規)

2016.10

No. 133

松川町議会です

シリーズ『えがお』

特集

観光局(仮)構想の前に…観光をじっくり考える

2ページ

議会と語る会・人材育成など

諸問題に斬り込む! 議会のうごき

10ページ

追跡! あの質問はどうなった?

16ページ

8議員が町政を質す! 一般質問

19ページ

保護者のもとへ迷わずまっすぐに駆け寄る。純真無垢な笑顔に癒される。双葉保育園運動会にて。

これからを考える



地方消滅の危機感からか、観光による地域おこしに取り組む地方自治体が全国的に広がっています。折しも政府は地域の「稼ぐ力」を引き出すべく「日本版DMO」構想を策定しました。私たちの町はこの動きにどう対応すべきなのか。青年の家あと利用問題を契機に、「観光」について見つめ直し、この問題を振り返ります。

そもそも観光って何？

有名な観光地と言えば、京都や北海道、熱海などが思い浮かびます。観光地には「観光資源」が必要と言われてきました。分類すると、①自然資源(山や海)②人文資源(歴史的建造物や行事など)③近代資源(娯楽施設や水族館など)——の3つに大別されるそうです。

お伊勢参りなど古来からある観光は、情報網が未発達の時代ならではの「物見遊山」という性格が強いものでした。昭和の高度成長期には団体旅行が流行します。団体客を収容する大型ホテルや大宴会場に象徴されるこの

時代は、参加者全員が共通体験をすることで、仲間同士の連帯感を高める意義がありました。「旅の恥はかき捨て」などの傍若無人ぶりが目立つたのもこの時代です。平成以降は個人ヘシフトし、スタイルも多様化します。単なる物見遊山ではなく、バイクや鉄道での移動行程を楽しんだり、何か所も周遊して回るのではなく、一か所に長期滞在するケースも増えています。

地方にもチャンス到来？

「観光の目的とは何か？」あえて答を探すと「異なる地域での疑似体験」と言えます。かつては「ハレの疑似

体験」が中心でした。土地の人がハレの日に食べる郷土料理や名物を堪能し、祭りや伝統行事を見物することが人気でした。

しかし多くのサービスが均質化され、マスコミ・ネットなど膨大な情報が流通し、商業的な観光資源の魅力は低下しつつあります。

その流れを受け、昨今は「日常生活の疑似体験」を求める傾向が強まっています。見知らぬ地方を訪れ、土地の人が普段から行う生活様式を体験するニーズが高まりつつあります。

有名な観光資源がなくとも、工夫と知恵を駆使して観光客に選んでもらえる「着地型観

光地」が増えています。先進地では、①地域住民主導であり、行政はサポート役に過ぎない②地域の魅力の発掘や創出が「客観的」に行われている——ことが共通する特徴のようです。

魅力は地域住民が発掘

住民が核となつて、小規模で始め「地域の魅力とは何か」を常に模索しながら試行錯誤して発展させる、というのが先進地で共通しています。この方法で、住民が魅力を自画自賛して自己満足に陥るこ

とを防いでいます。旅行者の客観評価を冷静に受け止めながら、少しずつ改善して成長の糧にすることが成功の秘訣のようです。

埋もれた観光資源という鉱脈に、最も近い所にいるのが地域住民です。ので、彼らが主体となれば最強です。しかし「地域の魅力に最も鈍感なのは、地域に住む者自身である」という説もあります。旅行者の心に響くキラリと光る魅力は、住民にとつて当たり前すぎる生活風景の中に隠れています。「未来に残した



※DMO：地域の「稼ぐ力」を引き出し、地域と協同して観光地域作りを行う法人

観光のあり方と



行政は黒子役に 徹せよ

根気が必要な魅力発掘の長い年月は、住民の意欲や求心力が低下しがちです。協議が空中分解しないよう成功事例の情報を提供したり、同じ思いを持つ住民同士を結び付けたりするのが行政の役割です。住民が主体で、行政は黒子役に徹して忍耐強くサポートします。ともすれば、行政が先走ってしまうケースも

見られますが、成功事例をあまり聞くことがありません。

観光産業は本来「民間事業」です。当事者が主体となつて、行政を巻き込むことは重要ですが、「自らの価値を高めて収益を上げる」という感覚に不慣れな行政を主体に据えるのは本末転倒です。観光地には観光資源が必要、観光資源と言えば大規模な施設、大規模と言えば公金投入、公金と言えば行政が旗振り役——という思考回路が通用する時代は過去のものになりつつあります。住民自身が地方消滅に対する強い危機感を持ち、自画自賛ではない客観的な魅力を発掘・発信することで、交流人口と定住者を確保しようとする真剣に考え行動する——ように導き育てるのが行政の仕事ではないでしょうか。



まとめと提言

役・付添人・案内係）し、「地域の人の日常生活を疑似体験」するスタイルが一般的になると思われます。

私たちの町は、定住者を増やす第一段階として、交流人口の増加を掲げ、観光事業に傾注しているようです。

その行政が、地域の魅力を発掘する住民の力を信頼し、住民の成長を陰ながら支援するというよりは、行政自らが企画立案しルールを引いて、住民を強引に引っ張ろうとしているいか不安が残ります。最初から風呂敷を広げるような大規模な観光計画は、リスクも大きく、初期投資も莫大な額となりがちです。また、従事する住民スタッフや諸役員は、相当な覚悟と責任を背負うことになり、誰しも二の足を踏んでしまうことでしょう。

私たちの町の観光はどうでしょうか。果狩りに代表される農園体験に加え、清流苑、フォレストアドベンチャー、梅松苑などの施設型観光資源も一通り備えています。もなりんをはじめとする「産直」も増えてきました。変化する旅行客ニーズの「的確に把握」はどうでしょうか。単なる物見遊山や、ハレの日の疑似体験を旅に求める層は、高齢化が進み、ジリ貧の恐れがあります。これからは地元の人が発掘した魅力を、地元の人がアテンド（世話



27年度決算認定 28年度補正予算

批判噴出！巨額の使い残しに質疑集中

7月臨時会
8月臨時会
9月定例会

平成27年度決算は9回の補正を行ったにもかかわらず、一般会計で5億425万円もの不用額（使い残し）が生じた。全会計では実に7億3775万円にのぼる。節約すべきか、住民要望を実現すべきか。折しも職員の業務人材管理の問題が露見し、人手不足による事業未着手も遠因のようだ。議会の追及はいつになく厳しいものとなった。

**使い残すより
住民要望の実現を！**

質問 決算収支を見ると約5億円余ったことになる。度重なる補正を行ったにもかかわらず、なぜ膨大な額を使い残したのか。

答弁 貯金への積み立てと借金の返済を優先したい。今年度に繰り越して事業実施の財源に充てたい。

**ずさんな
労務管理が原因？**

質問 職員の人材管理が問題となっている。

H27の繰越金を得て4億円以上も増えた

H28当初予算	7月補正	8月補正	9月補正
63億8000万円	64億 592万円	64億1315万円	67億9100万円
16億8077万円	17億 918万円	17億 918万円	17億1271万円
1億5129万円	1億5129万円	1億5129万円	1億5157万円
12億9588万円	12億9588万円	12億9588万円	13億1670万円
3億3234万円	3億3234万円	3億3234万円	3億3847万円
754万円	754万円	754万円	762万円
3億8937万円	3億8937万円	3億8937万円	3億9435万円
5億2377万円	5億2377万円	5億2377万円	5億2850万円
3357万円	3357万円	3357万円	3681万円
5億9409万円	6億 327万円	6億 327万円	6億 727万円
113億8860万円	114億5210万円	114億5934万円	118億8498万円

※端数処理のため合計値は一致しない場合があります。

質問 過重労働が予算使い残しの原因では。抜本的な業務改善が必要だ。

答弁 何度も予算の補正を行ったにもかかわらず、多額の余りが出た原因をこれから精査する。

職員のレベルアップが急務！

質問 職員の過重労働やマンパワー不足があるようだ。対処療法的な研修ではなく、能力開発や業務見直しが必要では。

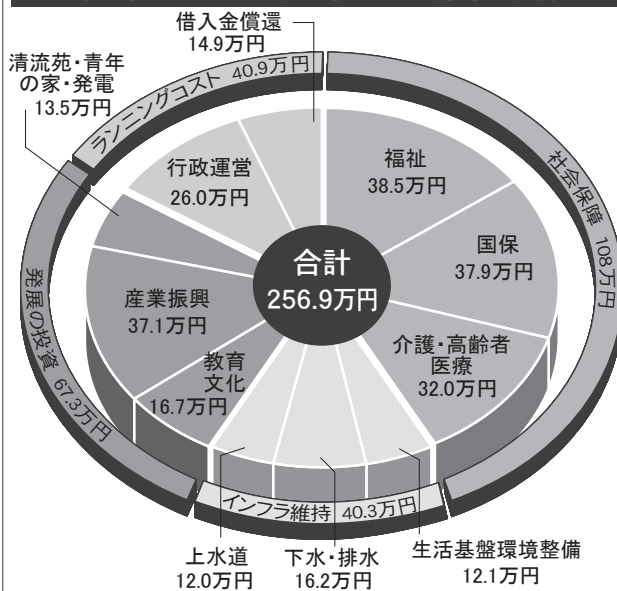
答弁 業務改善する人材すら不足しているのが現状だ。専門家を招致して改善を試みたい。

日々のチェックが必要だ！

質問 入念に策定し審議した予算は使い切るのが原則だ。定期的に予算の執行状況を把握しているのか。

答弁 四半期ごとにチ

1世帯あたりに換算した歳出の内訳



エックして事業進捗を管理している。節約の努力も必要だと考える。

答弁 重要度の判定が困難で、補正が多くなる原因と考える。業務効率を改善するシステム化は今後検討する。

こつこつとシステム活用を！

質問 事業の重要度を定めて管理しているのか。システム化による

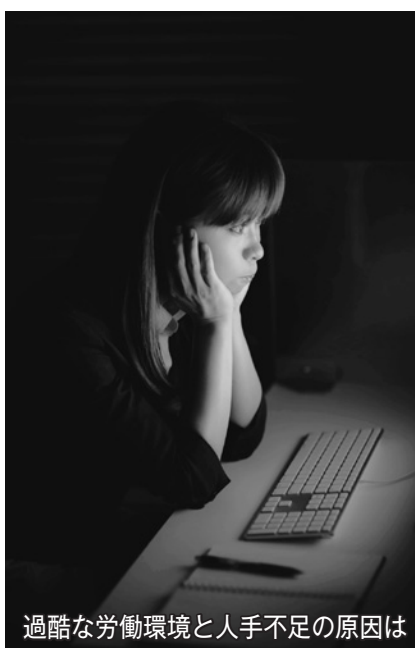
自転車操業の 財政運営？

質問 当年度予算が、前年度の決算繰越金をあてにしている傾向が続いている。財政規律上大きな問題だ。

答弁 補正の回数が多くなっているのは認識している。厳正な運用を精査したい。

外部委託より 内部職員の育成を！

質問 委託料が年々増加している。町政運営の重要な政策企画も委託が目立つ。非正規職員への依存も大きい。人



過酷な労働環境と人手不足の原因は

9回もの補正があったが、5億円以上も余った

	H27当初予算	最終補正	決 算
一 般 会 計	59億1200万円	68億9763万円	63億7891万円
国民健康保険事業特別会計	16億 516万円	17億8811万円	16億6605万円
後期高齢者医療特別会計	1億3918万円	1億4571万円	1億4221万円
介護保険事業特別会計	12億8310万円	12億9111万円	12億6317万円
公共下水道事業特別会計	2億9219万円	2億9786万円	2億8784万円
発 電 事 業 特 別 会 計	6220万円	7472万円	4616万円
農業集落排水事業特別会計	3億8540万円	3億9365万円	3億7781万円
保養宿泊施設事業特別会計	5億2870万円	5億4338万円	5億1345万円
青 年 の 家 特 別 会 計	3379万円	3671万円	3420万円
水 道 事 業 会 計	5億3343万円	5億4900万円	5億2799万円
全 合 計	107億7515万円	120億1788万円	112億3780万円

8億円近くも余り、予算の意義が問われる

件費に対する考え方は。また種類が混在しており、今後精査する。人

余らせるくらいなら 負担軽減を！

質問 国保会計で多額の使い残しがある。住民の保険料負担軽減などに充当できないか。

答弁 昨年度は大きな疾病流行がなく、支出を抑制できたもの。医療費の予測は難しく、会計に余裕を持って運

用したい。

対処療法より 抜本的な改善を！

質問 職員の労務管理が問題となっている対応として、労務管理心理相談員賃金10万円は少なすぎるのでは。

答弁 ボランティアで対応してもらえる部分もある。カウンセリングも併用して対応したい。

【平成27年度一般会計 決算認定審議の討論】

反対討論

(加賀田亮議員)

使い残しがあまにも大きく、財政規律が機能していない。監査意見も例年になく厳しい指摘が多く、会計運用の弛緩が懸念される。決算で甘い認定を行くと、次年度予算編成の厳正さにも影響し、補正の頻発が予想される。

自戒のためにも決算

(次頁へ続く)

監査の視点



町税収入は96・1％の高い収納率を確保。一方で特別会計を含む収入未済額は、1億49万8千円と微増、町民の公平公正な負担の観点から、適切な債権管理のもと滞納整理の一層の強化を。

業務の役割や責任の分担、給与格差などさまざまな課題を引き起こしている。活力ある町政を推進する上で、職員の人事管理や健康管理は最も重要。事業の合理化、積極的な外部委託を行い、職員の過重負担や町民サービスの低下を招くことのないように。

経常収支比率は82・3％と微増、財政構造の弾力性に乏しい状況。事務事業の見直しによる経常的経費の削減など、健全な財政運営を。年度末の町債残高は積極的な繰上償還により105億9405万1千円と微減。将来負担に意を用いて、今後厳選した町債発行を。正規職員112人の人件費総額は7億1356万円。一方、正規職員以外の賃金総額は4億7303万円。雇用の二重構造は、担当

今後、公共施設の老朽化に伴う大規模補修など、財政運営は厳しさを増す。将来展望に立った財政計画の立案と計画に基づき、効率的かつ重点的な財政運営を行い、住民生活環境の整備や住民福祉のためのソフト事業などに、更なる尽力を。

代表監査委員 佐々木光男
議会選出監査委員 米山 由子

を認定するには抵抗が大きい。

医療費は低いのに なぜ重税？

質問 当町は県内国保

順位では、医療費の低さはトップクラス、保険料負担の軽さは下位グループで重税感がある。矛盾の原因は。

答弁 後期高齢者保健

への支援金負担の重さが要因と考える。今後は努力者支援制度を積極的に活用したい。

生活の基盤！

水道の将来は？



水の安定供給は生活の根底だ

質問 人口減少や水道

施設の老朽化に伴う引き当てなどによる、水道料金引き上げが懸念される。将来の見通しの情報公開は。

答弁 現在アセットマ

ネジメント※事業の途中であり、詳しく精査しないと料金については判断できない。情報公開は今後検討する。

分散会計では管理が 行き届かない？

質問 水道会計で大き

な損失が出た原因は。また、下水道・農集排など水関係の会計は統

合すべきでは。

答弁 固定資産見直し

により過去の除却損計上漏れが発覚したもの。また、次年度の会計基準変更に合わせて統合を検討している。

埋蔵金で定住者向け の住宅を！

質問 土地開発公社に

多額の資金が眠っている。上片桐専用側線跡地など宅地化による有効活用は。

答弁 民間賃貸住宅稼

働率の横這い、住民の高齢化など、新規開発に不安がある。空き家調査結果を待つて検討したい。

気楽に5億円を 借りるとは！

質問 年度末に資金シ

ョートを起こして、5億円の短期つなぎ資金を高利で借入している。会計管理は適正なのか。
答弁 資金繰りを的確

に把握できていなかった。調達のタイミングも含め、会計管理の向上に努力したい。

町制60周年は 良いけれど……

質問 町制60周年記念

講演の詳細は。若者の将来が開ける夢のある事業を。

答弁 タレントの「さ

かなクン」や、JAXA宇宙飛行士を招致し、子どもたちに希望を持たせる講演を企画している。

〔平成28年度一般会計 補正予算審議の討論〕

反対討論

(松井悦子議員)

講師謝金が合計200万円と多額で、記念講演の規模が大きすぎる。新聞広告も松本以南に90万円余を費やすのは疑問だ。地元の講師と聴衆で行うのが町政60周年の本筋であり、

※アセットマネジメント：水道施設の耐震化・老朽化による更新・改築需要や財源の計画管理



必要以上に規模を拡大すべきではない。

いつやる？今でしょ！ 金利交渉

質問 市中銀行から調

達した町の借金が27億円前後ある。金利見直しや借り換えの交渉を行っているのか。

答弁 職員に専門的な

知識が不足しており、強い交渉ができていないのが現状だ。今後改善したい。

いざという時に 機能するのか？

答弁 未満児受け入れ

を開始するにあたり新

未満児保育ニーズに 迅速対応を！

質問 大島保育園改修

工事690万円の詳細と背景は。

答弁 未満児受け入れ

規に保育室の設置を行うもの。

循環型社会への対応は？

質問 フードリサイクル事業の将来展望は。

答弁 処理コストは燃やすと大差ないが、環境貢献を視野に入れ、今後も経過観測に努めたい。

将来に備えた職員能力の把握を！

質問 今年度決算から企業会計に準じた複式簿記になるが、職員の

能力開発は進んでいるのか。

答弁 職員の新基準会計スキルを把握できていない。目前に迫った課題であり検討したい。

ここでも人材不足が足かせに！

質問 住民の介護保険への関心が高まっている。年3回発行の情報誌の拡充を。

答弁 職員のマンパワー不足で発行拡充は困難。ホームページなどを活用したい。

深刻な人材不足は

何が原因？

質問 政治への無関心が広がる今、共通投票所開設などが必要では。選挙事務の職員体制の拡充は。

答弁 マンパワーが足りない。現在の体制で何とか運用したい。選管と協調して検討する。

まだまだある人材不足問題！

質問 他業種の優秀な社会人経験者を即戦力として登用する、新卒採用者は長期的に育成

するなど、人材登用の抜本的改革や、職員の能力向上対策は。

答弁 今の現場には、体制見直し策定に費やすマンパワーすら不足している。早急に取り組む課題と認識している。

討論

「松川町議会政務活動費の交付に関する条例」の改正を求める陳情

反対討論

(森谷岩夫議員)

クレジットカードなどを使うと清算は1か月後になることが多く、短期間での収支報告は困難。また、先払い制度は、議員の家計事情に影響されずに支出できる重要な仕組みだ。監査委員のチェックもあり、厳正に運用できると考える。

(加賀田亮議員)

そもそも政務活動費は月間7千円と少額で、都度の後払い方式は職員の事務負担を増加させる。報告書の提出義務すら設けない議会が多い中、当町の規程は厳格を極めるレベルだ。本陳情は問題提起として一定の意義は果たしている。

「奨学金制度の充実等を求める意見書」の採択を求める陳情

賛成討論

(加賀田亮議員)

奨学金の拡充は必要だと考えるが、財源の課題が残る。返済の負担軽減も一律ではなく経済的理由を個別に考慮すべきと考え、委員会審議にて自分は趣旨採択としたが、委員会での議決を尊重し採択に賛成する。

TPPに関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求める意見書

賛成討論

(熊谷宗明議員)

韓国のFTAを他山の石としてみると、TPPによるアメリカの農産物は大きな脅威であることは明白だ。国内農業の持続可能性を担保するためにも、国会での慎重な審議を求める。



TPPで日本の農業は守れるのか

※フードリサイクル：残食などの生ごみを堆肥化し食料生産に還元すること

だより

社会文教 常任委員会

9月12日(月)・13日(火)に総務産業建設常任委員会ごとに現地調査を実施しました。

に審査を分担し、能率的に処理するために設置された機関です。

答弁

質問・意見

- ① 3月にオリエンテーションと町長の講義、4月に2日間の研修、その後OJTになる。
※
- ② 申請がなければ失権となる。未申請者には書簡による通知を送送する。
- ③ 第3子については現在18人、第4子以降が4人となっている。増額については、結婚支援策など総合的に進めていければと考えている。
- ④ 桜の木の日陰と、子どもたちが走り回ることによる硬土化によって洋芝が繁茂できない状況がある。今は野芝を補給し、いい状態になるよう努力している。
- ⑤ 正規職員が退職したことから、健康訪問の食育指導など臨時職員が対応するための時間外勤務手当である。補充は現在募集の手続きを進めている。
- ⑥ 耐震化を進めていく方向が示されているなかで、ボードの老朽化に伴い、小学生のミニバスケットにも対応できる上下移動式のボードに変えていく。

- ① 4月より正規職員への人事配置が2件あった。新規職員の教育研修はどのように行っているのか。
- ② 臨時福祉給付金の対象者の要件は複雑なので間違いがないような案内にしてほしい。申請がない場合はどうアプローチするのか。
- ③ 出生子育て支援金の対象になった第3子以降は何人いるのか。太陽光発電事業の収益を活用して一律10万円ぐらい増額してはどうか。
- ④ 双葉保育園の園庭スプリンクラー修繕に60万円が計上されている。問題の多い芝生化は考え直す必要があるのではないか。
- ⑤ 臨時管理栄養士の賃金が18万円計上されているが、その内容と栄養士の補充はどうなっているか。
- ⑥ 青年の家体育館のバスケットゴールボード他修繕費168万8千円が計上されている。あと利用を見越したなかでの修繕か。

- 「奨学金制度の充実等を求める意見書」の採択を求める陳情を審査した結果、賛成4、趣旨採択1、反対1で採択としました。

調査・研究

中央公民館の内装工事は順調に進み、完成間近になっている状況を確認しました。次に大島保育園の未満児室改修予定教室を視察しました。2歳児の部屋は最大で19人程度、0歳～1歳児については10人まで受け入れができるようになります。



新たに0歳～1歳児保育が始まる大島保育園

※OJT：日常業務を通じた新人教育。一貫方針がないと教育係に負担が生じ、育成評価も曖昧になる、という課題も多い

総務産業建設 常任委員会

委員会

9月8日(木)・9日(金)に社会文教常任委員会、
会を開催し、付託された案件の審議を行い、各

※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別

質問・意見

答弁

①補正予算で予備費として2億4666万3千円が計上された。住民要求が満たされ住民に還元される予備費の活用計画はあるのか。来年度送りになっているものの前倒しの実行を。

②所得税の延滞金24万円の発生原因と、ミスが発生しないようなシステムの構築、マニュアルの作成などの対応は。

③農業費委託料の、緊急県単名子井測量設計委託ということで80万円盛られている、その工事の内訳は。

④若者定住祝い金として160万円の補正が組まれ16件に対応とのことであるが、この内容・利用者の反応は。

①緊急性の高いもの、住民還元できるものに関しては当然実施していくが、国の補正予算、それらの動きを考慮する中で、12月あるいは年を越すこともあろうかと思うけれども、その辺で精査をしていく。

②所得税計算における事務手続きのミスで、結果の照合を怠ったのが原因であり、対策についてはシステムの運用方法の徹底を指示する。

③農政で行う土砂崩落危険箇所工事で、場所は原田第2配水池付近で南側水路の浸食に対応する工事であって、延長60メートルの水路を現場打ちで施工し、工事に関してはすべて県で行う。

④本年度より交付要綱を整備し募集を行った。45歳以下で町内に住宅取得された方が対象で、1戸当たり10万円、マーくんギフトカードで祝い金として交付する。今回は16件。4月以降が対象のため、それ以前の方には申し訳ないが、制度自体は喜ばれている。

- 「松川町議会政務活動費の交付に関する条例の改正を求める」陳情を審査した結果、趣旨採択1人、不採択5人、よって不採択としました。
- 「公共工事設計労務単価引き上げを受け、建設労働者の適正賃金確保に向けた取り組みを求める」陳情を審査した結果、6人全員の賛成で採択としました。
- 「TPPに関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求める」陳情を審査した結果、6人全員の賛成で採択としました。



間もなく完成、境ノ沢新橋梁

調査・研究

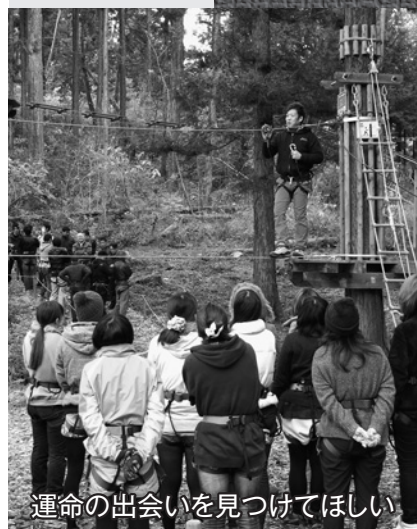
委員会審議に合わせ、9月12日に現地視察を実施。完成間近の、大草線境ノ沢にかかる橋梁工事の進捗状況の確認と、神護原線、神護原神社横の道路改修事業進捗状況を視察。あわせて松川IC入り口道路側線の、県道から町道への編入予定部分の確認を行いました。

高齢者福祉などに意見・苦言続出 観光政策など

今年度の「議会と語る会」を
7月20日～30日にかけて町内5
会場で開催しました。区会の皆

議会のうごき

さんのご協力のもと、大勢の方
の参加を得て、有意義な会とな
ったことをご報告いたします。



運命の出会いを見つけてほしい

あと地利用と観光政策

頂いたご意見抜粋

青年の家

- ・農業体験講座など、中高校生が使えるような採算最低限の利用料で活用されたい。
- ・返還後は町営でなく、三セク・民営化の方が良い。
- ・仮称観光局とは分かつづらい、詳しい説明を住民に。
- ・運営主体が不明確で非常に心配する。
- ・合宿施設やフォレストアドベンチャーと合わせた多目的な施設に

- したかどうか。
- ・あと利用の具体的な案が行政から出されてから、住民の意見を聞くのは遅すぎる。
- ・運営の収支バランスが示されていない。
- ・赤字になったら町費で補てんするのか。
- ・ある程度の料金体系で運営すればいいけるのでは。
- ・宝の山のような施設だ。活用して欲しい。
- ・サブグラウンドくらいは必要だ。
- ・しっかりプロデュースする人がいないとダメだ。

東小

- ・大学との連携で活用。
- ・外から人の集まる場に。
- ・場所も道も狭く、利便性が悪い。
- ・コミュニケーション。
- ・ジビエの解体作業所に。
- ・田舎の魅力を発信できる場所として。
- ・この他にも多数の意見を頂きました。青年の家は、運営母体となる観光局(仮)設置を町は検討しています。



コミカフェでいつまでも元気！

高齢化社会への課題

頂いたご意見抜粋

高齢化問題

- ・両親とも認知症で大変苦労した。認知症の対応が分からないうちに亡くなってしまった。
- ・認知症検査のPRも含め実施普及を。
- ・高齢化で除雪作業の対応ができなくなっている。
- ・農業にUターン・イターンに援助はあるが、家族後継者には手厚い援助がない。
- ・放置農地が増加している。景観を守るにも
- ・景観の維持にバイオエネルギー作物を作り利用する。
- ・結婚する人が減ってきている。もっと若い人たちの出会いの機会が必要。
- ・福祉に対する一般質問はほとんど見当たらない。
- ・実態を議会で掘り下げて対応を。
- ・保育園、小学校、中学校の入学祝いを。
- ・介護者のケアをする施策が欲しい。

・福祉としてICT化
端末はどうか。

・松川町を見たら魅力
的なことは見えてこな
い。

・高齢者の雇用に力を。

・自治会のどんど焼き
など古くからの行事が

少子化により存続の危
機。

・自然の中でのびのび
育てる教育が大事だ。

貴重な意見を頂きま
した。少子化問題を含
め更なる取り組みが必
要と感じます。

町職員の人材管理などその他

その他の意見交換抜粋

・選挙の無投票は結果
であって、強い気持ち
を持った人の集まり。

・無投票の一番の原因
は手当が少ないこと。

若い人が出たくても町
議になれば生活が成り
立たない。

・町会議員に立候補す
る魅力がない。

・町内に生活できる就
労の場が必要。

・語る会では、あらか
じめ資料の提示を。

・果樹園の太陽光発電
設備化を危惧している。

・農業振興について議

会からもっと提案を。

・リニアの問題で大量
な残土をどうするか、
運搬埋め立ても含め影
響を考慮して慎重な対
応を。

・松川町は近隣町村に
比べ途中退職が多いと
聞く。

・若者が定住できる対
応を図るべき。

・最近、何人も保育士
が辞めたようだが、原
因は。

・健康問題は重要であ
り、保健師の待遇、扱
いを慎重にして欲しい。
・保健師に夜来てほし

いが、労働がきついと聞
くのでお願いしづらい。

・役場内にパワハラが
あると聞くが。

・町長の管理不足では
ないのか。議員も町長
に進言すべきでは。

・「職員を教育する」職
員を置くべきだ。

・子供の医療費窓口無
料化について、議会だ
よりに反対意見が載っ
ていない。反対理由が
知りたい。弱い立場の
人達を救済すべきだ、
議会もよく考えても
らいたい。

・国保の資産割は不公
平。

・議会と語る会はこれ
からもぜひ続けて欲し
いと思う。

・人の和を大切にする
行政に。チームワーク
が必要だ。

・役場が最大限機能す
るためには、かばい合
い、助け合いが必要だ。

町長、副町長の責任で
はないのか。議会もし
っかり対応して欲しい。
・役場の人事評価制度
はあまりよくないと思
う。

ご意見を真摯に受け
止めさせていただきま
す。



伝統を次世代につなぐためには

「議会と語る会」は議
会運営委員会が中心と
なって実施しています。
委員会では各会場から頂
いたご意見を分類整理
し、設置されている社
会文教委員会と総務産
業建設委員会でも更に検
討します。

各々の委員

会で政策とし
てまとめてい
くもの、町長
に提言するも
の、議会全体
で更に議論し
ていくものな
どに仕分けま
す。その後議
員全員で協議
し、それぞれ
の対応を実施
していきます。

委員会では政策として
提言するものは、任期
も迫っており、申し送
り事項となりますが、
今回頂いた町長に繋げ
るべき貴重な意見は、
早急に取りまとめ提出

議会と語る会の まとめとこれから

します。

今回、「議会と語る会
はこれからもぜひ続け
て欲しい」というご意
見を頂きました。この
「議会と語る会」は、町
民の皆さまのご意見を
しっかりと聴取するた
め、議会基本条
例に定めてあり
ます。この度の
定例会にて条例
改正を行い、広
報広聴常任委員
会が新たに発足
します。議員全
員が広報（議会
だより）または
広聴（議会と語
る会やチャンネ
ルユー対応、議
会中継の充実な
ど）の担当となり情報
発信と収集の充実を図
ります。

「議会と語る会」開
催にあたり、多くの方
にご協力を頂きました
ことにあらためて感謝
を申し上げます。

町職員の人材育成、待遇改善 徹底調査・審議を提言

議会では「議会と語る会」から頂いたこの

問題を深刻に受け止め、町側に對し現況調査を要求し、中間報告を得ました。また今回の一般質問でも多くの関連質問があり、町側の対応・答弁はお粗末で、多くの問題点が浮き彫りになったと言えます。議会任期満了も迫るなか、早急に改善を行うべきと判断し、9月28日提言書を提出しました。以下、概要を掲載します。

労務管理と労働環境に

関する提言

（前略）多数寄せられた役場職員の中途退職・休職者の問題を、今まで単なる個人の問題として片付けていたのでは。議会でも一般質問などで何度もこの問

題に通じる質問がなされ改善を提案してきた。

中途退職、休職者の急増問題は単に個人の要因によるものではなく職員を取り巻く様々な課題が重なり合って発生していると考えられる。業務量の増大、残業の問題、職員定数、非正規雇用、同一労働同一賃金、人材育成、人事評価、人事異動などである。（中略）人材は宝であり職員が仲間意識を持ち、また切磋琢磨しながら気持ちよく職務に専念できる環境作りが最も重要である。

役場の現状は多くの町民から指摘を受けるほど厳しい状況であり深刻である。議会として早急な対応を求め提言するものである。

記

1. 早急に労務管理を充実し適切な職員対応ができる体制を整えること



議会のうごき

2. 不本意な中途退職、休職の要因に通じる課題を精査し抜本的な改善を迅速に行うこと

3. 明るく意欲的に働ける職場づくりを目指して日々労働環境、労働条件の改善に取り組むこと

下伊那北部ブロック

町村議会（松川・高森・豊丘・喬木・大鹿議会）

と中部伊那町村議会協議会（松川・飯島・中川・大鹿議会）は、平成28年度の県への陳情項目をまとめた。

松川町よりの要望事



陳情 リニア開業に向け道路網 整備は伊那谷を最優先に

項は、①主要地方道「飯島飯田線」上片桐バイパスの整備促進について②インバウンドによる国際交流支援について③保育園設置市町村の負担軽減について——の3件であり、偶然にも両方一緒の陳情項目になった。北部ブロックについては、去年9月21日各町村議会の正副議長と事務局長が、吉川、高橋両県議同席のもと、各担当部長と県議会担当委員会に陳情要請を実施した。中部伊那町村議会協議会は飯島町が当番だが、今年中は日程が取れず、来年早々県へ陳情する予定だ。



平成27年度決算は、予算額に対し大きな乖離が生じた。当初予算に比べ一般会計は7.90%の増加、特別会計と水道事業会計を含む全会計では、4.29%の増加だった。9回もの補正を行ったにもか

かわらず、過去10年間の平均と比較しても補正回数・増加率ともに多すぎる印象だ。この状態が恒常化すれば、当初予算の妥当性が失われかねず、それを議会が審議・議決する意義は薄れ、当初予算を積算する行政業務も形骸化する恐れがある。安易な補正の頻発によって当初予算の信頼性が損なわれることのないように、より一層の精緻さをもって予算を策定積算すること、補正上程は議会が定める一定の条件を満たすことを、近日中に提言書として行政に示す予定だ。

厳正な当初予算と補正を求める！

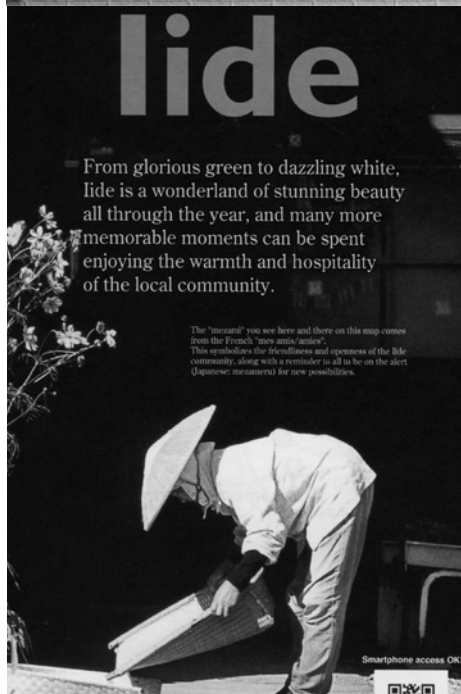
先進地
視察で
見えた

町の課題

の

処方箋

しょ ほう せん



北海道ニセコ町
Jファーム苫小牧
秋田市教育委員会
オークフィールド八幡平
飯豊町観光協会

8月17日から20日にかけて有志議員11人で視察研修を実施した。北海道から山形県まで走行距離2080キロ。自分の町に置き換えてどうか。感動のある視察だった。

北海道 ニセコ町役場

全国で初めて「まちづくり基本条例」を制定し、「情報共有」と「住民参加」をまちづくりの二大原則として町政の推進を図っている町で、オープンガバナンスと財政民主主義の先進地と言われる町を視察した。行政にとつて都合のいい悪いでなく

て、できる限り情報を開示していこうという姿勢で貫かれており、「ニセコ町予算説明書（もつと知りたい今年の仕事）」という全予算の細部まで載った厚い冊子を、毎年各世帯へ配布している。我が町でこれをするとなれば、どんな組織体制が良いのか。また、情報公開の基本となる文書管理の閲覧は、すべての書類にファイリングシステムを導入し、どの資料も30秒以内に切り出せるよう整理されている。

行政職員の仕事の三分の一は過去の書類探しだと聞いたことがある。仕事の合理化が図れると同時に、住民からの問い合わせにも瞬



卓越したリーダーシップがまちを変える
ニセコ町長 片山健也氏

時に対応できる画期的なシステムを見てきた。ニセコ町の合計特殊出生率は平成24年で1.74。全国平均は1.39。雪の多い北海道の田舎町でのことだ。また、新エネ、省エネの導入を進め、循環型社会に向けた取り組みが盛んだ。生ゴミや下水道汚泥は、家畜の糞尿と混ぜて堆肥化し資源と化している。平成21年のリサイクル率は56.4%。今より23年前から住民自治を考え、第7代目の逢坂誠二町長が職員と協力して、住民と培ってきた手順と実践の標準化を果たした。地方自治の神髄ではないか。素晴らしい実践を咀嚼し、我が町に導入することは恥ずかしいことではない。

隠すモノは何もない！
徹底した情報開示が
住民パワーを引き出す

※オープンガバナンス：行政データや情報を公開活用し、住民が政策形成プロセス・実行段階で協働し、社会の課題に取り組んでいくこと

観光資源はヒトと行動力 インバウンド先進地の熱い若衆

飯豊町観光協会 山形県飯豊町

当町が考えている南信州まっかわ観光局(仮)の方向性を探るため、インバウンド国際交流で経産省も認める全国有数の先進事例を視察した。

人口約7500人、米作と米沢牛の産地である。豪雪地帯を逆手に取り、スノーモービル体験を盛り込んだ雪遊びと農家民泊がヒット。昨年度の来訪者は8000人となり町の人口を超えた。

誘客のために大型投資をしたわけではなく地域の日常を旅行者が体験するシンプルな日程、家にやってきて、食や会話を楽しみ、ゆ

っくりしてもらっただけ。飯豊町の豊かな自然環境と温かいもてなしと手作り感が、旅行慣れした台湾人の心を捉えたようだ。今年からタイからの観光客の受け入れも始まり、増加する来訪者に対応するため、他地区への分散宿泊をするなど広域連携も始まった。何もない、と言われがちな田舎だが工夫次第で海外

からの集客はできることを実証している。この事業のスタッフはわずか3人。民間企業での営業経験が豊富で、臆することなく体当たり営業で自分たちの思うことを実現してきた。少人数の協会運営であるが無料のITサービスを活用し、いつでもどこでも情報共有が徹底されている。行政ではできないことも協会という組織ゆえに自由度も大きく、発想と本気と行動力が人を呼ぶと認識した。



彼らの行動力の源は何か

秋田市教育委員会 秋田県秋田市

※指導主事：教育委員会事務局に所属し、現場の教員に学校教育の専門的事項を指導する

全国学力テストで常にトップを走り続ける秋田県。秋田県が教育改革に本格的に取り組むようになったのは今から50年ほど前、当時の「全国中学校一斉学力テスト」で47都道府県中40位台と低迷していた。関係者はこの結果に危機感を覚え、保護者をはじめ多くの県民の協力を得て、大胆で積極的な改革が始まった。その取り組みや課題を市教育委員会から学んだ。

学校訪問による指導

指導主事が計画訪問をし、学校側から教育方針の聞き取りと全学級の授業参観や授業研究などを行い、助言や指導による改善につなげている。

中学校では授業の準備を教員ひとりに任せ



学力全国トップの秘けつは

るのではなく、教科の垣根を越えてチームでひとつの授業をつくりあげている。

教職員研修制度の実施

研修を71講座設定し、市独自で進めている。忙しく互いの授業を研究し合う機会が減り、ベテラン教員の技術が若い教員に伝わりにくくなった。各教科小中合同研修会や全市一斉授業研修なる。

「スーパー先生」よりも チームワーク

教育ノウハウを皆が共有

世界を見ずえた先進農業

従業員に誇りと生き甲斐あふれる

Jファーム苫小牧 北海道苫小牧市

広大な敷地に農業生産法人として、スマートアグリ生産プラントを運営する会社を見学した。3・8^{ハル}のなか

でベビリーフとトマトなどの周年栽培を行っている。

栽培棟の水耕栽培は、温度・湿度・施肥・日照・CO₂などすべてコンピュータで管理さ



もはや農場ではなく巨大なプラントだ

れおり、人の手間を借りない生産工場である。

販売先はイトーヨー

カドーなど大手企業、

今はシンガポールまで

拡大しており、世界を

見すえている。

全施設10億円の投資

で3億円の補助が国か

らあった。企業が本格的

に農産物の生産販売

を行う時代となり、地

域を選ばない生産物の

生産が可能となったこ

とを実感した。

オークフィールド八幡平 岩手県八幡平市

都市に住む高齢者の

地方移住を促す生涯活

躍のまち（日本版CC

RC）構想の先駆的事

業として、完成したば

かりのサービス付き高

齢者向け住宅を見た。

コンセプトは「スト

レスフリーの雄大な自

然に囲まれた環境で、

文化芸術、学習、農業、

若者との交流などの活

動を提供する」内容と

なっている。

施設はバリアフリー

の整った建物で、清潔

感があふれていた。窓

からの眺めは岩手山を

望み、森林に囲まれて

素晴らしい。月額の入

所料が約17万円、専属

「施設」という感覚はダメ

誰もが住みたくなる環境を



シニア層を惹き付ける洗練された魅力

動を提供する」内容とな

っている。

施設はバリアフリー

の整った建物で、清潔

感があふれていた。窓

からの眺めは岩手山を

望み、森林に囲まれて

素晴らしい。月額の入

所料が約17万円、専属

シェフの作る料理も大

きな魅力だ。

移住となる鍵は、自

己実現と豊かなシニア

ライフを提供すること

が大切だと学んだ。

まとめと提言

わたしたちの町は今、さまざまな課題を抱えている。人間の健康と同じで、病気のときは対処療法も必要だが、根本的な治療を施さないと再発する。抜本的改善のためには、「何が原因なのか」を見極めないと治療の方法を間違えることもある。

秋田市教育委員会では熱血先生に頼る教育よりも、すべての教員にノウハウを提供し、「教える能力」の平均を引き上げる取り組みを見た。

視察に訪れた

先々では、わが町

の課題の「原因」

が見えたように思

う。ニセコ町では

「役職員も普通の

人間」と住民に

理解を求め、住民

が主役、役場は黒

子役、という考えが徹

底している。

飯豊町観光協会では、

たった3人の若者が情

熱と行動力で地域を変

える姿を見た。その裏

では行政が影ながらサ

ポートしている。若者

の自由な発想を妨げな

共通するのは「スーパーマン」に

頼らない行政の姿

勢だ。徹底して住

民や当事者を育成

し、行政はフォロ

ー役に徹する。そ

して全責任を背負

う覚悟がある。子

どもの成長を見守

りながら、親とし

て全責任がある親子関

係に似ている。

わが町ではどうか。

住民力を最大限に伸ば

すために、行政は情報

を開示して導く裏方に

徹し、根気強く育てる

責務を負う覚悟はある

だろうか。

一般質問で行政側が「検討する」と答弁したものが、その後どうなっているか追跡しました。

質問

奨学金制度の充実と返済困難者への支援を

2012年 3 月議会
2015年12月議会

意欲と能力のある生徒が、経済的理由で進学を断念することのないように奨学金制度の拡充を。また、Uターン定住促進政策として、奨学金返済を抱える帰郷者への支援を。

日本の子どもの貧困率はOECD加盟国の中で最悪の水準にあり、6人に1人の子どもが貧困状態にあるとされています。進学を希望しても経済的事情であきらめる子どもを減らすには、国レベルでも自治体レベルでも支援が必要です。

今年度から、現代の物価事情に見合わなくなった大学生の貸与奨学金は、月額2万円アップして5万円となりました。入学金などに使えるように、半年分または1年分を一括して受け取ることもできます。また、返済期間も貸与を受けた期間の3倍に延長され、一定の条件を満たす帰郷者には、最大で25万円の奨学金返済支援を行うことになりました。

松川町の奨学金制度の変遷

	対象	金額	支給・貸与
昭和46年～	高校生	年 120,000	支給
平成14年～	高校生	月額 20,000	貸与
平成21年～	高校生 大学生	月額 20,000 月額 30,000	貸与

※返済開始は卒業月の1年後から。返済期間は貸与を受けた期間の2倍。

このように拡充されました

平成28年～	高校生 大学生	月額 20,000 月額 50,000	貸与
--------	------------	------------------------	----

※返済期間は貸与を受けた期間の3倍に延長。
(例：4年間貸与を受けたら、12年間で返済)



子どもの未来が町の未来をつくる

松川町ふるさと学費応援補助金も創設されました(平成28年4月～)

●松川町ふるさと学費応援補助金

◆目的

奨学金を受けて大学等に進学し、卒業後に松川町に居住する人が返還している奨学金の一部を補助することで、ふるさとを担う人材の確保と地域の活力を創出します。

◆対象者 次の要件をすべて満たす方(ただし公務員を除く)

- ①奨学金の貸与を受けて大学、短大、専修学校専門課程に進学した者
- ②平成27年4月以降から奨学金等の返還を開始した者、又は平成27年4月以降に新たに松川町に住民登録した者
- ③月賦、半年賦、年賦で奨学金の返還を行い、滞納していない者
- ④補助申請する前年度より引き続き松川町に住民登録があり、居住している者
- ⑤交付期間後も引き続き松川町に居住する意思のある者
- ⑥町税等の滞納がない者

◆補助金額

前年度中に返還した奨学金(補助対象金額)の4分の1
【年間最大5万円】×連続する5回を限度とします。

議会はこの公務員除外条項の見直しを求めています

議 決 結 果

●全会一致で議決されたもの

平成28年第2回臨時会議決結果

件 名	結 果	内 容
補正予算 平成28年度一般会計補正予算(第2回)	可決	総額に変更なし。(歳出:農林水産業費、消防費増 予備費減)
報告 水路氾濫による床上浸水及び駐車場砕石洗掘の損害賠償の額について(専決第1号)		床上浸水及び駐車場砕石洗掘による損害賠償額の報告

平成28年第3回臨時会議決結果

件 名	結 果	内 容
契約 平成27年度社会資本整備総合交付金事業 町道大草線橋梁整備工事変更請負契約の締結について	可決	町道大草線橋梁整備工事変更請負契約(7587万円) 株式会社 ヤマウラ
補正予算 平成28年度一般会計補正予算(第3回)	可決	724万円を追加し、64億1315万円に

平成28第3回定例会議決結果

件 名	結 果	内 容
条 例		
松川町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可決	マイナンバーの利用等に関する法律に基づく保育料の徴収事務におけるマイナンバー利用及び特定個人情報の提供に関する条例改正
松川町使用料徴収条例の一部改正	可決	公民館改修に伴う使用料徴収条例の改正
松川町農業委員会に関する条例	可決	農業委員会制度改正に伴う条例の制定
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	農業委員会制度改正に伴う条例の改正
松川町議会委員会条例の一部改正	可決	松川町議会委員会条例における常任委員会の名称、委員定数及び所管の改正
松川町議会広報の発行に関する条例を廃止	可決	常任委員会の改正に伴う松川町議会広報の発行に関する条例の廃止
認定 町道の認定について	可決	県道から町道への管理移管
友好姉妹都市 友好姉妹都市の締結について	可決	埼玉県蓮田市と友好姉妹都市を締結
平成27年度決算認定		
国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 17億9163万円 歳出 16億6605万円
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 1億4255万円 歳出 1億4221万円
介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 12億9476万円 歳出 12億6317万円
公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 2億9987万円 歳出 2億8784万円
農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 3億9558万円 歳出 3億7781万円
保養宿泊施設事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 5億4418万円 歳出 5億1345万円
青年の家特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 3744万円 歳出 3420万円
発電事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 4623万円 歳出 4616万円
水道事業会計決算認定	認定	収益的収入 2億9891万円 資本的収入 8414万円 収益的支出 3億1604万円 資本的支出 2億1195万円
平成28年度補正予算		
国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)	可決	353万円を追加し、17億1271万円に
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	可決	29万円を追加し、1億5157万円に
介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	可決	2082万円を追加し、13億1670万円に
公共下水道事業特別会計補正予算(第1回)	可決	613万円を追加し、3億3847万円に
農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)	可決	498万円を追加し、3億9435万円に
保養宿泊施設事業特別会計補正予算(第1回)	可決	473万円を追加し、5億2850万円に
青年の家特別会計補正予算(第1回)	可決	324万円を追加し、3681万円に
発電事業特別会計補正予算(第1回)	可決	8万円を追加し、762万円に
水道事業会計補正予算(第2回)	可決	収益的支出 補正額400万円 計2億9190万円に
報告 自動車破損による損害賠償の額について(専決第2号)		町道115号線での自動車破損による損害賠償額の報告
平成27年度財政健全化判断比率等の報告		平成27年度財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告
人事		
松川町教育長の任命	同意	生田 高坂 敏昭教育長(新制度の教育長職)
松川町教育委員会委員の任命	同意	生田 寺澤 美佐子委員
人権擁護委員の候補者の推薦	同意	元大島 酒井 克元委員 元大島 伊藤 政子委員
陳情		
公共工事設計労務単価引き上げを受け、建設労働者の適正賃金確保に向けた取り組みを求める陳情	採択	陳情提出者 飯下建設産業労働組合連合会 代表者 会長 王生 一
TPPに関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求める陳情	採択	陳情提出者 みなみ信州農業協同組合 代表理事組合長 田内 市人
意見書		
TPPに関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求める意見書	可決	提出議員 森谷 岩夫 賛同議員 松井 悦子 橋本 喜治 菅沼 一弘 間瀬 重男

●多数意見により議決されたもの

○ 賛成 ▼ 反対

件 名	加賀田 亮	菅沼 一弘	黒澤 哲郎	坂本 勇治	熊谷 宗明	森谷 岩夫	米山 俊孝	島田 弘美	橋本 喜治	間瀬 重男	松井 悦子	米山 由子	白川 靖浩	結果	内 容
決算認定 平成27年度一般会計歳入歳出決算認定	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	歳入 69億6237万円 歳出 63億7891万円
補正予算 平成28年度一般会計補正予算(第4回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	可決	3億7785万円を追加し、67億9100万円に
陳情															
「奨学金制度の充実等を求める意見書」の採択を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	採択	陳情提出者 日本労働組合総連合会 長野県連合会 会長 中山 千弘
「松川町議会政務活動費の交付に関する条例」の改正を求める陳情	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	採択 否決	陳情提出者 元大島 宮下 繁
意見書 奨学金制度の充実等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	可決	提出議員 米山 由子 賛同議員 坂本 勇治 島田 弘美

主 な 議 会 日 程

7月 1日(金) 社会文教常任委員会	7月 30日(土) 議会と語る会(上大島地区)	9月 12日(月、13日(火)) 総務産業建設常任委員会
7月 5日(火) 議会だより編集委員会	7月 30日(土) 議会と語る会(上片桐地区)	9月 15日(木) 一般質問
7月 7日(木) 議会だより編集委員会	8月 2日(火、3日(水)) 牧の原市議会視察受入	9月 21日(水) 北部ブロック町村議会
7月 8日(金) 町村議会改革シンポジウム	8月 5日(金) 議会運営委員会	正副議長県知事陳情
7月 14日(木) 議員協議会	8月 25日(月) 議員協議会	9月 23日(金) 議員協議会
7月 20日(水) 社会文教常任委員会	8月 25日(月) 第3回臨時議会	9月 23日(金) 議会全員協議会
7月 20日(水) 議会と語る会(古町・上新井地区)	8月 25日(月) 議会全員協議会	9月 23日(金) 本会議(再開、最終日)
7月 21日(木) 長野県町村議会議員研修会	9月 2日(金) 中部伊那町村議会研修会	9月 26日(月) 議会だより編集委員会
7月 22日(金) 議会と語る会(生田地区)	9月 5日(月) 第3回定例会(開会)	9月 28日(水) 都市・農村共生社会創造 シンポジウム
7月 24日(日) 議会と語る会(名子地区)	9月 5日(月) 議会だより編集委員会	9月 29日(木) 福井県大野市視察受入
7月 26日(火) 議会全員協議会	9月 8日(木、9日(金)) 社会文教常任委員会	9月 30日(金) 議会だより編集委員会
7月 26日(火) 第2回臨時議会		
7月 28日(木) 北部ブロック町村議会議員研修会		

人 事

教育長



高坂 敏昭氏
(生田)
再任

教育委員



寺澤美佐子氏
(生田)
新任

ただ 所信を質す！ 一般質問

- 1 加賀田亮議員 (19 ページ)
・この4年間で「協働」は十分に機能したか
- 2 熊谷宗明議員 (20 ページ)
・鳥獣害対策について
・南信州まつかわ観光局(仮)の方向性は
- 3 坂本勇治議員 (21 ページ)
・町の業務体制での課題は
・自然エネルギー利用の明確な目的は
- 4 森谷岩夫議員 (22 ページ)
・健康のための予防活動は十分か
・教育現場と教育委員会のより良い関係とは
- 5 間瀬重男議員 (23 ページ)
・高齢者や障がい者のために集會施設に机や椅子の配慮を
・不登校の現状と予防対策について
- 6 菅沼一弘議員 (24 ページ)
・大規模災害の備えは万全か
・生田東小学校施設、青年の家など今後のあり方は
- 7 松井悦子議員 (25 ページ)
・人事評価制度の検証は
- 8 黒澤哲郎議員 (26 ページ)
・今、行政改革しなければならないことは
・生き甲斐づくりによる町の活性化と健康増進について

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

質問の持ち時間はひとり20分ですがスペースの都合上、質問者の責任において質問と答弁を要約して掲載していますので、臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしております。

や疑問などを投稿ください
議会对するご意見

言いたい聞きたい！

純真な笑顔の瞬間を！
保育園・小中学校の行事などで、子どもたちの笑顔を撮影した写真を投稿ください。

住民参加型の議会だよりを目指し投稿・モニターを募集します。

募集
皆さまでつくる議会だより

御礼モニターアドバイス
今回は14人のモニターの皆様から多種多様な批評を頂き、誠に

議会広報紙をチェック！
議会だよりモニターとしてお気づきの点、批評などを、自由な視点でお寄せください。

さい。どんな視点でも結構です。

gikai@matsukawa-town.jp

3617020

申し込み・問合せ先
各募集の投稿や条件のお問い合わせは議会事務局まで。

申し込み・問合せ先

ありがとうございます。まだまだ紙面が堅苦しく、読者の関心を引くには程遠い、との厳しい声が多く寄せられました。真摯に受け止め今後の改善に努力いたします。

議員活動をチェック！ 政務活動費・一般質問

詳細な政務活動費報告書類はインターネット・議会事務局で公開しています。

<https://goo.gl/Cv0sCf> (シー・ブイ・ゼロ・エス・シー・エフ)

過去の一般質問は議事録にて公開しています。

松川町 政務活動費 検索

松川町 本会議 会議録 検索

第15期 議員名	政務活動費(4~9月)速報※1			一般質問回数		
	件数	活動支出額	申請上限額※2	前期	後期	計
加賀田 亮	5	73,330円	56,000円	8	8	16
菅沼 一弘	2	67,133円	56,000円	8	7	15
黒澤 哲郎	2	67,132円	56,000円	8	8	16
坂本 勇治	2	67,139円	56,000円	6	7	13
熊谷 宗明	1	51,461円	56,000円	8	8	16
森谷 岩夫	1	51,461円	56,000円	7	6	13
米山 俊孝	2	73,406円	56,000円	8	4	12
島田 弘美	2	72,566円	56,000円	議長	3	3
橋本 喜治	2	67,026円	56,000円	6	2	8
間瀬 重男	2	67,026円	56,000円	5	5	10
松井 悦子	0	0円	56,000円	5	3	8
米山 由子	0	0円	40,000円	3	2	5
白川 靖浩			未申請	0	0	0
関 克義			未申請	6	議長	6

※1 9月末時点の集計であり、議長審査前のものも含みます

※2 申請上限額を超えた支出は自費負担、期限内に支出が満たない場合は返還されます

問

住民が自ら考え行動する環境を整えたか

答

少しずつ改善し途上にある

（産業観光課長）今年度

から移住交流相談員を配置した。商工会と連携して起業を支援する体制構築を進めている。

（問）独立起業の枠組み

まで行政が支援するのは疑問だ。徳島県上勝町の「ゼロ・ウェイスト」事業、高知県四万

十町の「四万十ドラマ

のように、住民が主体的に地域課題を解決しながら雇用と収益を得るビジネスモデルが望ましい。そのためには

徹底した情報開示と、

（町長）定住促進に就業は重要だ。雇用促進支援員を設け、企業と学校の連携を図っている。

協議する場でのコミュニケーションが欠かせない。

（総務課長）まちづくり懇談会などで行政の情報

提供している。

（町長）地域づくり会議の会合を計画している。今後活用したい。

（保健福祉課長）福祉・健康を考える集会は住

民主体の問題解決行動の典型例だ。

（まちづくり政策課長）住民協働が持続可能になるビジネス化は重要な要素だ。

（問）行政は地域の「課題」と「ニーズ」を結び付けるにとどめ、住民が主体的に「解決」

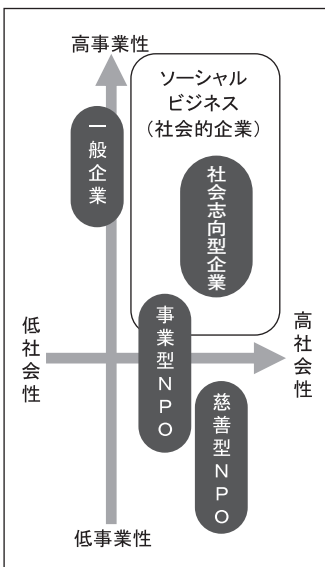
するよう導くべきだ。これが真の「情報提供・開示」であり、後継者

不足に悩む各種団体の協働活動で、若者が主体となる好機となる。

（まちづくり政策課長）各種団体や協議会で聞こえない声を吸収する

仕組みが必要だと感じている。

（要望）会合に出席できる人はサイレントマジョリティとは言えない。ICT技術を活用するなど、新しい観点で対応すべきだ。また、住民の声に出不せないニーズを敏感に察知するセンスが町職員に求められる。ファシリテーター能力はその典型であり、その人材育成に



社会課題を解決しつつ収益も確保する社会的企業

いっばん質問

※サイレントマジョリティ：物言わぬ多数派。積極的に発言はしない大多数が存在する
※ファシリテーター：会議での特長な中立的進行役。参加者の心理や状況を読み、意見や考えを引き出す



シニア層が黒子役に徹する
震災復興のトップランナー宮城県女川町

問 猿が嫌がる環境づくりを

答 山羊の放牧をモデル事業に

(問) 柵のなかに住みついていた猿が繁殖し、丹精込めて育ててきた農産物が食い荒されておられ、生産者の怒りは頂点に達している。年々凶暴化しており、人身に被害が及ぶ前の対策が急務であるが。

(産業観光課長) 通学路などへも出て来ており、新しい課題となっており。いろいろな取り組みを総合的に進めていく。

追い払っているという環境を作るために山羊の放牧を提案する。山羊は人なつっこく山羊牧場として発展すれば人気スポットとなり、誘客にもつながるが。

(産業観光課長) 山羊は地元農家の協力を得て、モデル事業として考えていく。

(問) モンキードック(猿追い犬)が各地で注目され、猿から畑を守るパートナーとして活躍している。訓練費用など支援をして、飼育者を増やすことを喚起すべきだ。

(産業観光課長) 地元の方で飼育の希望が出てくれば支援を検討していく。



熊谷宗明 議員

(問) 清流苑のマレットゴルフ場やフォレストアドベンチャーにも出沒しており、遊戯銃で



猿の追い出しが期待される

(問) 狩猟免許の取得を支援して猟友会への加入促進を図ると共に、駆除頭数による成果報酬ではなく、出動手当方式にして運営を援助

問 観光局(仮)が担うメリットとは

答 持続可能な施設運営を目指す

すべきと考えるが。 (産業観光課長) 防護柵が出たことにより、駆除頭数が減ってきており、猟友会の財源が少なくなってきた。成果報酬ではなく、活動に対して補助をしていくことも今後は考えていく必要があると思っている。

(問) 南信州まつかわ観光局(仮)の設立は、これからの地域づくりの基軸となる大きな改革と考える。清流苑を観光局へ入れていく案が示されているが、そのメリットは。

(町長) 今構想に描いていることを実施した場合の経費や、相乗効果

(産業観光課長) 清流苑の事業を引き続き力強く運営していくために行政とは別の組織を構築して、課題となっている会計や運営方法を解決して持続可能を目指す。

(問) 青年の家のあと利用において、公共的と収益的部分のバランス



観光局(仮)が運営できるか？(青年の家)

問 業務体制の課題は

答 非常に大きな問題だと思っている

〔問〕各課のそれぞれの事業の内容は課内はもちろん、課をまたいでの情報共有は十分できているか。また問題点は。

〔総務課長〕 パソコンのグループウェアや課長会議での情報伝達、町政懇談会資料、会議録、出張の復命書の回覧などで共有している。問題点は、パソコンと言う冷たい機械の中でのやり取りで、職員同士のコミュニケーションが取りづらくなっている。

〔総務課長〕 即答できる問題とできない問題もあるが、公開条例に基づき、住民サービスの向上に職員への指導を徹底していく。

〔問〕役場の業務には専門知識や、経験豊富な職員が必要だ。内部でできる業務も、外部に委託する業務も内容を理解できなくては何も

精査できない。専門職の採用は。

〔副町長〕 保育士や教育関係の専門職以外の職員は70人余りだが、人

事異動をしなければならない関係で、専門職は少ない。これからの採用の計画はなく、職員の努力に頼っている。

〔要望〕 分課により弊害が出ていと感じる。速やかに合課の検討と民間ツールの活用を。

問 自然エネルギー事業の目標と計画は

答 数値目標などの計画は現在もっていない

〔問〕水力発電はパイロット事業だけで終わり、太陽光発電は企業と民間任せ、町の施設への太陽光発電は無知な計画により中途半端になり、議員が4年前から提案している木質廃材を利用した、町内循環型エネルギーの取り組みは何も進められていない。将来の町の自然エネルギーに対する考えは。

自然エネルギー利用促進方針の策定をして、公共施設5か所に設置し、まもなく最後の中央公民館も稼働する。他に太陽熱温水器や薪ストーブの普及啓発とバイオマスについても研究を始めたところだ。町内の事業者や住民の皆さんと共に省エネ・省資源化などへの取り組みをしていきたいと考えている。

〔問〕総合窓口での対応



坂本勇治 議員

人財になるための7つの条件

Q.さて、あなたは、いくつクリアしていますか？

1. 明るく、元気なあいさつができる。
2. 言われなくても、自分で考え、行動できる。
3. 人がイヤがることでも、進んで取り組める。
4. 常に「どうしたらできるか？」を考える。
5. 仕事の納期を、きちんと守ることができる。
6. ミスやクレームなどの報告を、すぐにできる。
7. 人が見ていなくても、手を抜かず仕事ができる。



❌できない理由 禁止！

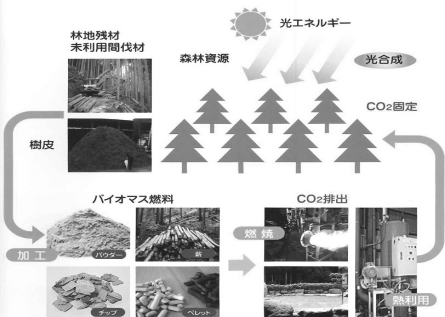
できない理由を考えるのではなく
できる方法を考えることがあなたの仕事！



民間ツールの活用を

〔環境水道課長〕 国の地球温暖化対策エネルギー転換支援を受け、家庭用太陽光発電システムの普及に努めてきた。町では昨年9月に

環境保全と木質エネルギー



◎ 森林は成長するとき、光合成により二酸化炭素を吸収し、酸素を排出します。木質バイオマスを燃やして二酸化炭素を発生させても、それは空気中に存在した二酸化炭素を植物が成長するときに取り込んだものであるため、大気中の二酸化炭素総量の増減には影響を与えません。そのため、森林資源は、カーボンニュートラルと呼ばれます。

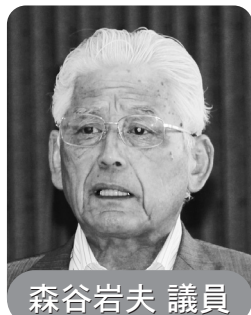
◎ 日高川町では、木質バイオマスの利活用とともに地球環境を守る様々な活動に取り組んでいます。

循環型エネルギーのイメージ

問 健康のための予防活動は十分か

答 適正な業務量を見直している

〔問〕健康予防は町民の要望が強い分野だと思うが、地域の健康学習グループや集会などの支援もできにくくなっているという。自主的な健康活動を支援していくことが本来業務と思うが、現状は保健師や栄養士の仕事量が多いのではないかと。早く人員確保をすべきではないか。



森谷岩夫 議員

〔町長〕健康予防はこれでいいという業務ではないと思う。優先順位を決めて定着させていきたい。現在保健福祉課内部の話し合

いを進めるなかで、増員の話が出てきている。保健師2人、栄養士1人を早急に確保したい。

あると考えている。適正な業務量への見直しを現在進めている。



総合検診後のケアがとても大事な仕事だ

〔保健福祉課長〕健康学習会や出前講座で支援することも含めて、平成27年度より活動が落ち込んできている。やはり人員体制に問題が

〔要望〕心穏やかに健康に暮らしていくことは町民が等しく願うこと。これは町民ニーズの最も大きい分野だ。人員整備を図って全力投球を期待する。

問 教育委員会のこれからを問う

答 内なる改革の取り組みが必要だ

〔問〕松川町ではこれから新しい教育委員会制度が始まる。どう取り組んでいくか。

場の声に耳を傾けながら、内からの改革もしていきたい。保護者の思いは、「子どもたちが喜んで学校に行ける」このことだと思う。そうでない子どもたちの思いも汲んでいきたい。

ければならない。学校だけでは難しい。地域の方々の力も借りて、地域住民と学校が垣根を低くして、一緒になつて子どもたちを育てるという教育を実現したい。

〔教育長〕教育委員会の機能発揮が十分かとの疑問があった。平成25年8月の事件以来、学校にどう向き合っていけばいいのか考えてきた。教育委員会の見える化や教育懇談会の実施など地域の声を聴くことに今まで以上に務めていきたい。

〔問〕教育現場への取り組みは。保護者は学校に何を期待していると思うか。

〔教育長〕教育委員会が学校現場へ足を運び、方針をきちんと伝える。学校の先生方が町の職員であるという自覚が薄いこともあるが、現



新しく始めた教育懇談会は今の教育委員会の姿勢の表れだ

問

集会施設に高齢者や障がい者への配慮を

答

補助制度を精査して考えていきたい



間瀬重男 議員

(問) 高齢者クラブの皆さんは、花壇づくりや清掃活動、親睦旅行などをを行い、地域の活性化と元気づくりに活躍をしている。新年会、お花見、総会や行事に行きたいが、「お座りができんので行くのが嫌だ」とか、「階段の上り降りが大変」という声も多くなってきた。高齢者や障がい者の苦痛を少しでも和らげて、社会参加をしていただくため、集会施設に高齢者や障がい者にやさしい机や椅子の配備を。

(町長) 今、町の高齢化



高齢者や障がい者に優しい環境づくりを

率31・9%、この5年間で0・5%増えている。いろいろな会議に参加するなかで畳に座卓は大変だ。集会施設に対する補助制度があり、内容を精査して考えていきたい。

率31・9%、この5年間で0・5%増えている。事業の上限が50万で30%以内の補助制度とした。

(副町長) 今年度より自治会会所改修補助金交付要綱にバリアフリー化という項目を設け、机や椅子の備品購入が

たい。

問

不登校の現状と対策は

答

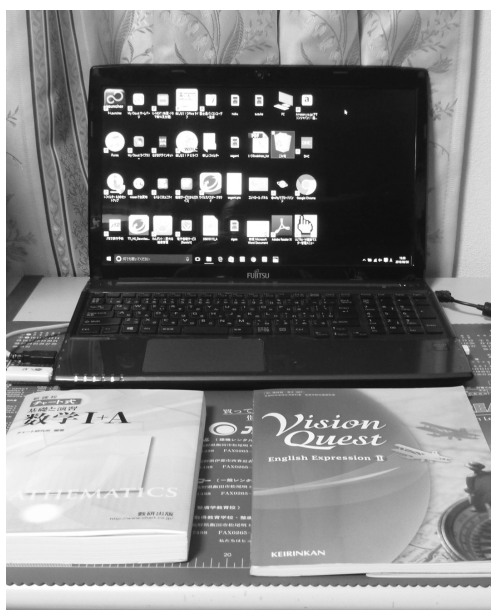
家庭学習ができるシステムを導入

(問) 近年不登校の子どもの数は増加しつつある。子どもの数が減少しつつあるのに、不登校の子どもが増えつつあるということは、憂慮すべきでは。

(教育長) 病気や経済的理由を除く、1年間に30日以上欠席のある児童生徒は、平成20年度あたりがピーク。その後減少傾向が続いていたが、ここ2、3年、増加気味で現在中学生17、8人、小学生2、3人である。不登校の原因であるが要因を把握するのは大変難しい。いじめや校内暴力、体罰が原因での不登校というのではない。

(問) 児童生徒の学習支援と家庭への助言は。

(教育長) 中央小と中学



家庭で学習できるeラーニング

校については、学習室を用意して、そこに町費の先生を1人配置して、子どもたちの相談や学習支援をしている。今年から中学校にタブレット端末を導入したが、家庭のタブレット端末やパソコンからインターネットを紹介して、英語や数学を学べるeラーニングシステムを取り入れている。

家庭で学習ができるという条件整備をさらに整えていきたい。親御さんには今のままの子ども姿をありのまま受けとめてほしい。休んでいるという状況は大変気になると思うが、決して無駄な時間ではない。その子にとっては必ず意味のある時間であると話している。

問 災害に対する備えは万全か

答 災害に備え体制作りに力を

（問）昭和36年6月、この伊那谷に大規模災害が起きた（通称サブロク災害）といわれている。当町生田地区を中心に甚大な被害が起き、近隣市町村でも大災害が起き、全雨量500ミリ以上と記憶している。災害は忘れたころにやってくるというが対策は。

（総務課長）町の方針として自主防災の育成に力を入れていていこうと考えている。

毎年7月に防災アドバイザーをお願いして防災リーダー研修会を行っている。

（問）東海地震について、東南海地震（1944）で歪みが解放されず、安政東海地震（1854）から160年

東南海・南海地震、おおむね100〜150年の間隔で発生しており、今世紀前半での発生が懸念される。中部圏近畿圏などの防災対策を早急に確立して



菅沼一弘 議員

（町長）各区会防災倉庫を設け、毛布を配布したのが始まり。戸別受信機や、デジタル化やいろんなことをやってきた。自主防災組織も育ってきていると思う。



災害時、いかに迅速にできるか

いく必要がある。

自治会未加入者、アパートの皆さんの安否確認はどうか。日頃お付き合いのない皆さんの情報収集はどうする

のか。

（総務課長）自主防災会リーダー研修会を通して、自治会未加入者、高齢者ひとり暮らしの方、要介護者の安否確

認や救出の共助をお願いしている。災害時には、名簿確認の情報提供をしながら、自主防災会と本部で手をたずさえていく。

問 東小学校、青年の家のあと利用は

答 まちづくり・産業観光・生涯学習課で検討中

（問）東小学校のあと利用は。使用が少ないと施設の痛みも激しいと思うが。

手がいる。

青年の家についても、いろんな施設との兼ね合いで、観光局の一施設となれば考え方が変わらと思うが。

（まちづくり政策課長

基本的には、まちづくり政策課、産業観光課、生涯学習課とで検討を行っている。

（要望）若者の観光人口を増やす施設も必要だ。特にスケボー場が必要だ。松川町にもスケボーの素晴らしい選



県外のサッカークラブ合宿が利用（旧東小）

問 人事評価制度の運用には、優しさが必要

答 工夫を怠らないように、進めていく

(問) 平成28年4月から、地方公共団体などにも、「人事評価制度」が規定され求められることになった。松川町では全国に先駆け、平成18年度から導入されるが、10年が経過しているが、成果について、どのように見ているか。

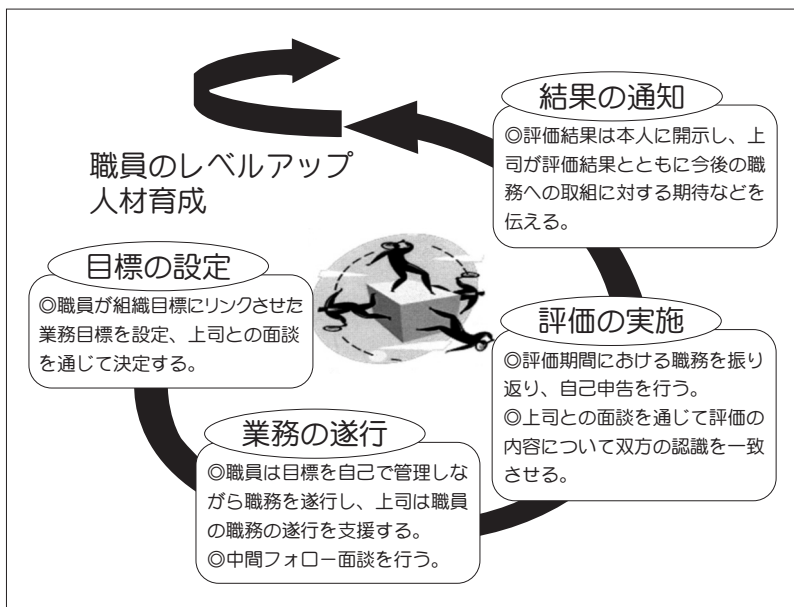
(問) 対応を受ける側の町民の声が、職員の評価につながるようなシステムはないのか。

(総務課長) 窓口で「窓口アンケート」という小さな紙に記入してもらう。また、町政懇談会などで、評判を聞けば取り入れている。

(町長) 難しい課題があると認識している。いかに公平にきちんと運用し、職員のモチベーションを引き出し、住民福祉の向上につなげていくかが運用上の課題だと考えている。



松井悦子 議員



評価をもとにレベルアップを

(問) 評価方法は減点と加点の方法だが、減点をせず0を起点とした加点方式にできないか。

(総務課長) 誉めるだけというのは考えづらい。減点評価の場合、面談時に理由など話し、次期について励ましている。

(問) 給料への反映はしないで欲しいというアンケートでの職員の声もあるがどうか。

(総務課長) 常に高い評価をもつことにより、モチベーションを上げて欲しいと考えている。

(問) 評価者である管理職への心構えについての教育が、重要だと思うが。

(総務課長) 良い上司になれるよう学習するため研修会を行う。

(問) 人が人を評価することへの不安は根強いと思う。その不安を取り除き、自分自身の向

上につながる制度だと職員が思える制度にする必要があるのではないか。

(総務課長) 長野県の研修センターの研修を行っているが、研修の質や内容、回数については検討したい。

(問) 現在の松川町役場の職場環境は、万全とはいえないのではな

いか。

その原因の一つに、人事評価制度があるのではないかと考える。改善すべきは改善をし、人事評価制度の良いモデルになるよう進めて欲しいと思うが。

(副町長) 改善すべきところはたくさんあるが、これからも発展させていきたい。

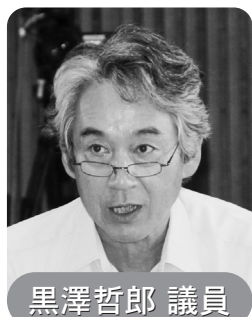


日常業務のすべてが評価の対象

問 役場は重篤な機能障害では？

答 問題はあるが機能障害とは……

（問）今、行政改革すべきことは。この4年間に一般質問した関連項目は15以上になる。上司が部下からも評価を受ける制度の実現。労務管理を行い残業・過重労働など労働環境の改善。効率化と連携など業務管理の改善。また職員定数、非正規雇用の問題。採用と配置人材育成の重要性などなど。一向に改善されないなか中途退職、休職者が続出し、業務が先送りされ機能障害となっているのでは。



黒澤哲郎 議員

（町長）今、職務が膨らんできている。どう体制を作るか。また、人材育成のシステム作りを考えている。今回職場環境改善委員会を設置し一丸となって体制を整えていきたい。

（問）保育士や保健師にも退職者が出ている。昼の休憩、午前午後の休憩はきちんと確保されているのか。

（こども課長）子どもを預かっている関係上完全な休憩時間を取ることは難しい。お昼寝の時間を活用してもらっている。改善については協議をしている。

（問）お昼寝の時間に保育士が休んでいて良いのか。先進地では休憩代替え制度がある。実際休憩時間は確保されないまま残業や仕事の持ち帰りまである現状だ。一般職も含め労働管理ができていない環境のなかで心を病む職員が続出している。この状況をどう考える。



働けど働けど……

（総務課長）休憩代替えは初めて聞く話。アンテナの低さを感じる。担当課長と検討していく。過重労働な職員もいる。第2と第4水曜日をノー残業デーにしているが業務量が増えている対応できない。

（要望）井の中の蛙では社会の変化に対応できない。職員の育成、業務改善のために出向や派遣を行うべきだができていない。今回、労働管理の専門家をお願いするが月4時間で改革できるのか。職員定数も大きく下回っている。地方創生で地方行政も変革の時代だ。今すぐ機能する役場への改革を総合的かつ抜本的に行うべきだ。

問 このままで良いのか特養入所待ち

答 今の時点ですと断言はできない

（問）高齢化について総合的な対応が必要では。特養の待機者は飯伊で400人を超えている。以前、町長は民間とのバランスを考えていくとの答弁だった。入所できず最期を迎える人もいる。現状をどう考える。

職員数の充実や不足部署への配置をすべきと反省している。

（町長）特養についてはしっかりと受け止めて検討はしていきたい。状況と将来、民間との兼ね合いを精査していく。

（要望）コミュニケーションの取り組みを地域の会所を活用するレベルまで広げられるよう補助金なども含め検討していただきたい。

（保健福祉課長）地方創生の中で生涯活躍の町という考え方がある。個人のスキルを地域資源とマッチングさせて補えるかが大切と考え



いつまで待てば入所できる？

「開かれた議会」を目指して、議会だよりは改善と進化に挑み続けました。編集委員会の任期終了を目前に控え、議会広報誌のあり方を総括します。

平成23年に議会基本条例が施行されて5年目、議会はさまざまな

改革に取り組んできました。個人色が強かった議員活動から脱却し、合議制・集合体として議会全体の権能を磨きました。政策立案や提言の推進力を高めた「オール議会」は、数々の政策に強い発言力をもって、市政の一翼を担うことができたと思います。

「オール議会」の独善を防ぐため、基本条例では「開かれた議会」を標榜し、住民の皆さまから広く聴き（広聴）、広く伝え（広報）ることの充実を目指しました。道半ばですが、議会だよりはるも広報の一環、ひいては議会改革の一環

として、住民の皆さまの関心を少しでも高めるよう努めました。

議会だよりが読まれる率はおそらく3割程度、特に若い世代・子育て世代にはほとんど読まれていない、という危機感を持っています。この世代に広がる政治不信・無関心と関連があると考え、「どうすれば手に取ってもらえるのか」を必死に模索してきました。この数年で数々の改善を試み、

全国コンクール入賞など一定の評価は頂きましたが、モニターの皆さまのご意見をはじめ、厳しい指摘も多く、道のりは長いと感じます。広報と広聴の更なる拡充とスピード感ある改革改善を目指し、こ

の9月に議会の立案で「広報広聴常任委員会」を設置しました。今後はCATVでのレギュラー番組や、ネットを駆使した動画配信・検索機能・SNSによる意見募集など、さまざまな構想を描いています。住民の皆さまにとって「何をやっているかわからない」議会から、「動向が気になる」

議会 皆さまに親しまれる

だよりの未来は

議会、「自分の考えを伝えたい」議会へと成長できるよう、研さんを続けたいと思います。

あとがきに変えて

議会だよりをお読みいただき、本当にありがとうございました。私たちが編集委員は紙面づくりに多く改革改善

を試みましたが、「トライアンドエラー」の名のとおり、エラーも多かったのではないかと反省しています。

かつて議会だよりは、予算や決算審議をトップ記事に据えていました。それが議会の最大の仕事であると考えてのことでしたが、同時に議会は政策を立案・

提言し、住民の皆さまの思いを反映させるべく、市政事業に深く関与することも同じくらい重要な仕事です。刹那的な審議に満足することなく、長期的視点で町の課題に取り組み、住民の皆さまと意識を共有することを目指して、トップ記事は毎号特集を組んで問題提起に努めました。皆さまの市政への関心の一助となれば幸いです。

改選を控え、議会だより編集委員会の任期も終わりつつあります。

来期の委員へたすきを つなぎ、「広報広聴常任委員会」へと生まれ変わります。皆さまの変わらぬご指導ご鞭撻、そしてご愛顧をこれからもお願いいたします。

編集委員

（委員長）

加賀田 亮

（副委員長）

森谷 岩夫

（委員）

松井 悦子

米山 俊孝

熊谷 宗明

黒澤 哲郎

菅沼 一弘



2年間ありがとうございました

この町に暮らして

こどもたちが元気な町「松川町」

宗源原 木下 幹子

義父母の介護のため五年前に松川町にUターンしました。生まれた町とはいえ、都会での生活が長かったため、松川町に住み始めたばかりのころは、誰とどんな言葉で何を話していいのか、何をどこで買えるのか、どこに何があるか、誰にどんな態度をとればいいのかなど、まったくわからずカルチャーショックの連続でした。おまけに義父母との初めての同居生活も、何をどうしていいかわからず、何をしてもうまくいかず戸惑いながら山を眺める毎日でした。そんな中で救ってくれたのは、松川町の元気な子どもたちでした。（それと夫のユーモアにも助けられました。）



東京の商社で海外との取引の仕事をし、その後学習塾で受験英語を教えた経験があったため、松川町に住み始めてから自宅で英語教室を始めました。義父母の介護、看護、家事の後、夕方になれば必ず毎日子どもたちが来てくれます。毎日何があっても、何もなくても、夕方になれば子どもたちの世界にどう入り入っていきます。都会の子

供と違い、松川の子供は声がでかいです。天真爛漫です。思っていることをズバツと言います。助かりました。救われた気がしました。子どもたちの言動についつい笑ってしまいます。毎日何か面白いことがあります。毎日がツツコミどころ満載です。

また最近では生徒たちの実力がつき始め、今日は筆記テスト満点、今日はあんな発言を英語でしてくれたなど、毎日感動もいっぱいです。毎晩、その日のレッスンを思い出してニヤニヤしながら寝ます。おかげさまで松川町での生

I Have a Dream!

私には夢がある
未来に羽ばたく若者●子どもたち



松川ミニバスケットボール女子クラブ

勝敗だけでなく、あいさつや礼儀、努力すること、上級生と下級生が仲良く活動することなどを大切にして、明るく元気に頑張っています。練習の見学や体験はいつでも歓迎です。気軽に練習場に来て下さい。

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

活にも、義父との生活にもすっかり慣れることができました。（義母は一昨年見送りました。）
生活に慣れたことで楽しいこと好きなことがいろいろ見つかりました。好きなあ、いいなあと思うことは、「松川町の子どもたち」「南アルプス、中央アルプスの山々」「中央構造線」隣近所の方々との会話「町の図書館」「飯田美博」「松川町の野菜と果物」「たまに行く居酒屋さんお寿司屋さん」「清流苑」などです。最近楽しかったことは、中央小学校の運動会です。「綱引き」にも、「タイフーン」「リレー」など見どころいっぱいでした。応援団もよかったです。「町みんなの娯楽」のような雰囲気です。いつの間にか隣にいた知らない人と会話をしていました。来年は北小の運動会も見に行きたいです。
これからも楽しいもの、面白いもの、おいしいものを夫婦ふたりで発見しながら生きていきたいと思っています。そして、目の前の楽しみは「子どもたちとのハロウィン」と「塩見岳、仙丈ヶ岳の初冠雪」です。今からウキウキわくわくしながら準備しています。